

設問・ポイント(結論)・解説で、ABL取引推進の要点を簡潔・明瞭に示します。

実務上よく生じる疑問や論点を、設問として厳選・構成しており、効率的に知識を習得することができます。

設問に対する実務上の要点を簡潔に説明しています。

2 ABLはどのような仕組みか

Point

ABLの仕組みの特徴は、担保が債権や動産である点にある。担保は、債権と動産の2種類に分けて説明されることが多いが、流動資産と固定資産に分けるほうが理解が容易である。特に売掛金や棚卸資産が担保の場合は、正常運転資金ニーズに応えるという機能と最終的な保全措置の拠り所に応えるという二つの機能をもつ。

担保主義から脱却し、企業の商流やビジネスモデルを理解し、資金繰りの構造を可視化する実態評価が肝要である。

解説

1 ABLの仕組み

(1) 仕組みの特徴

ABLの仕組みを図示化すると、図表2-1のようなスキームとなる。基本的に融資の申込みから実行・回収まで従前の融資と大きく異なる点はない。保全判断において、担保の要否を判断し、担保が必要ならばどの種類の担保が適切なのかという判断の後、債権や動産が担保となった場合にABLと呼ばれるにすぎない。ただし、たとえば不動産担保融資などと比べた場合、以下のような特徴がある。

① 担保物件は債権や動産であること

債権は主に売買やサービスの提供等を原因とする金銭債権である。一方動産は、棚卸資産に属する製品・商品・仕掛品・原材料等と、固定資産に属する機械設備等である。集合動産と個別動産に区分されることもある。いずれも担保としての適格性、担保取得の適切性についてスクリーニングすることが必要である。また担保物件の数量や価値は常時変動するため、担保権設定後は担保物件の特質にあわせた担保管理が必要となる。さらに担保権実行の局面においては、短期間のうちに担保物件を処分しなければならない場合もある。担保の評価・管理・処分の各局面において留意すべきポイントがある

14 第1編 ABLとは

判断を行ってノウハウ

(3) 与信条件

ABLは定型化商品で法などの与信条件におどのような種類の担保か、保全状況を金利に

けてきた融資案件と比べてよくABLで使われる

与信条件の変更や返済を

いは誓約条項)も必須条件として設けられている。担保物件の数量および価値の変動が大きく、担保としての安定性に欠けやすいことから、担保の数量や品質に関するコベナンツを設定することには一定の合理性がある

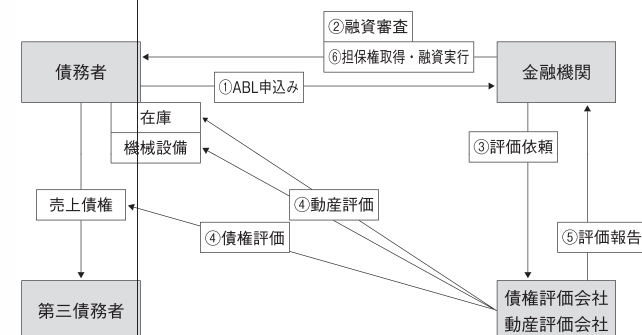
2 ABLの機能

(1) 担保の区分方法

対象となる担保は、債権と動産である(図表2-2参照)。債権は売掛金などが代表例であり、動産には棚卸資産(製品・商品/半製品・仕掛品/原材料など)のほか、機械設備などがある。

法律上の区分に沿って、債権と動産という区分けがなされることが多いが、機能の面から考えると、流動資産に属する債権や動産と、固定資産に属

図表2-1 ABLの仕組み



(出所) 筆者作成

ことは心に留めておきたい。

② 担保権は譲渡担保であること

債権や動産を担保とする場合は、質権の設定か譲渡担保の方法があるものの、実務的には譲渡担保が利用されている。譲渡担保は、質権・(根)抵当権とは異なり、担保を目的として目的物の所有権を移転するもので、判例上認められている法理である。債務者は自分の手元に置いたまま事業を継続することができる。近時では対抗要件の具備に債権譲渡登記制度および動産譲渡登記制度が整備され、担保としての法的安定性が増した。

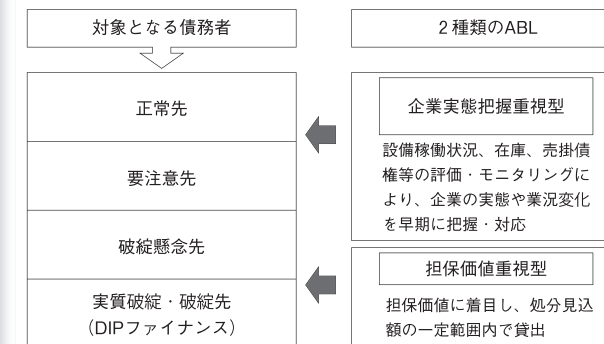
(2) ABLの商品性

ABLは、定型化商品でなければ制度融資でもない。米国では融資金額の決定やモニタリング手法などの実務慣行が確立されていると考えられるが、少なくともわが国において現状確立した融資慣行はない。ABLは金融手法の一つにすぎず、担保物件の特質や企業の状況にあわせてオーダーメイドなスキームを考えるべきである。特に動産担保の場合であれば、おそらく万単位の種類の動産が存在することから、取組当初は特に個別案件ごとにリスク

第1章 ABLの定義 15

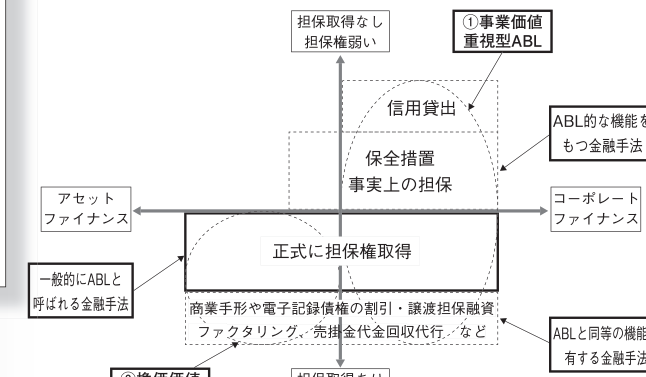
見やすい図表類の効果的な使用により、本文内容の理解の定着を促します。

図表2-4 二面性をもつABL



(出所) 日本銀行「ABLを活用するためのリスク管理」

図表2-5 二面性をもつ動産・債権を担保とする金融手法



(出所) 筆者作成

第1章 ABLの定義 19

(出所) 筆者作成

如実に表れる。これらの債権や動産は、担保価値としての側面と事業活動としての側面と二面性を有している(図表2-3参照)。

期末在庫の評価の操作は典型的な粉飾決算の温床である。売上げや利益は財務諸表を通してみえやすい半面、すでに過去の状態を表す運行指標であ